

平成 28 年度
自己点検・自己評価

学校法人 未来学園
前橋医療福祉専門学校



1. 学校の教育目標

未来学園は医療、福祉分野に必要な専門的知識、技術、態度を養い、実践力を身につけると共に、人間愛を基礎とし、全人的なかかわりや援助、ケアが実践できる医療、福祉従事者を養成する。

教育方針に“Learning Together Thinking Together”を掲げ、教職員一同、保健、医療、福祉の発展のために学生と共に学び、共に考える教育を実践する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 学生募集活動

少子化、医療福祉系進学希望者の減少、高校新卒者の就職率の上昇等の影響により、年々厳しさを増しており、定員確保に向けて次の事項について重点的に募集活動を行った。

- ・進学情報サイト、進学情報雑誌への掲載
- ・新聞広告等への掲載
- ・高校訪問の強化
- ・高校ガイダンス、会場ガイダンスへの参画
- ・オープンキャンパスの開催
- ・ホームページブログ、SNSの活用

(2) 教育活動

教育の質を向上させると共に学生サービスの向上のため、次の事項について重点的に教育活動を行った。

- ・国家試験合格率の向上
- ・就職支援の強化
- ・退学者数の減少
- ・ボランティア活動支援の強化
- ・学園行事の実施により学生サービスの向上
- ・授業評価アンケート、授業参観の実施
- ・臨床実習施設の充実

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

① 課題

- ・学生や保護者等の関係者に対する教育理念、育成人材像の周知徹底
- ・学科毎に進歩する医療福祉業界に対応できる人材像について明確化
- ・資格取得だけでなく、教育内容、実習内容を充実させ他校との差別化を明確化

② 今後の改善方策

- ・教育方針や育成人材像を学科ごとに明確にし、入学後の学生に対して理解を促す。
- ・学生や保護者以外にも高校教員や医療福祉機関に対し、教育理念や方針の周知を徹底させる。
- ・就職先や実習先から必要な情報収集を行い、より将来に必要な人材像を明確化する。
- ・大学や専門職大学との違いを明確にし、周知を徹底させる。

③ 特記事項

特になし

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

- ・将来の社会情勢に合った教育運営方針の明確化
- ・効率的な組織運営と人的資源管理の徹底
- ・医療福祉機関や地域に対する積極的な情報の公開

② 今後の改善方策

- ・人工知能や医療福祉機器の進歩により、教育運営を見直し、具体的に明確にする。
- ・効率的な組織運営が行えるように、定期的な会議や打ち合わせを行い、意識を共有する。
- ・各々の能力を適正に把握し、最大限に引き出せるよう管理職者による直接の指導、教育を行う。
- ・ホームページや SNS を活用しながら、学校の取り組みなどを具体的に発信し、理解を促す。

③ 特記事項

特になし。

(3). 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	②	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	②	1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
-------------------------	---	---	---	---

① 課題

- ・教員の教育力や学生指導能力に差が出ている。
- ・医療福祉現場からの情報が、教育内容に反映されていないことがある。
- ・授業準備や学生対応に時間が割かれ、十分な研修を行えていない。
- ・入学前や初年度教育が不足しており、授業についていけない学生もいる。

② 今後の改善方策

- ・広く求人を募集することで、教育力や学生指導能力の高い教員の確保を行う。
- ・定期的に学内研修を実施し、他学科の教員からも教育のノウハウを得ることで、教育の質を向上させると共に学外への研修を積極的に支援する。
- ・入学前教育や初年度教育を見直し、専門教育に対する理解を深める機会を設ける。

③ 特記事項

特になし。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4 (3) 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 (3) 2 1
・退学率の低減が図られているか	(4) 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 (3) 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 (3) 2 1

① 課題

- ・学科によっては就職活動が遅れる学生がおり、就職率が100%となっていない。
- ・国家試験合格率が全国平均を下回る学科もある。
- ・同窓会などの組織がなく、全学的に卒業生の活躍状況を把握できていない。

② 今後の改善方策

- ・早期から就職に対する意識が高めるよう個別の対応や支援を強化する。
- ・国家試験対策用ソフトの活用や国家試験対策補講を強化し、国家試験合格率を向上させる。
- ・学生生活を充実させ、さらに退学者の減少を図る。
- ・卒業生の状況が把握できるよう、卒業生とのコミュニケーションを取れる仕組みを構築し、運用する。

③ 特記事項

特になし。

(5). 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1

①課題

- ・経済的な面で学業を継続できない学生もいる。
- ・学生の学生生活等への相談、対応が不足している部分がある。
- ・高校とのキャリア教育の連携が不十分な部分がある。

② 今後の改善方策

- ・奨学金や教育ローン制度の案内等を行い、支援体制を強化する。
- ・早期から学生生活を過ごしやすくできるよう学習以外についても相談等に応じ対応する。
- ・社会人のニーズを把握し、学びやすい環境を整備する。
- ・高校とのキャリア教育に対する連携を強化し、医療福祉への進路希望者を増加させる。

③ 特記事項

特になし。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	(4) 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

① 課題

- ・教育用設備、備品等が経年劣化してきているものもある。

② 今後の改善方策

- ・老朽化している設備、備品について取替更新を行い、教育の質の向上を図る。
- ・PCや動画等を用いて、映像による学習を行うことで、より深く理解を促す。
- ・アクティブラーニング等の授業手法もできるよう学習環境を整える。
- ・先端の医療福祉現場を学べる臨床実習を増やし、質の向上を図る。

③ 特記事項

特になし。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 (3) 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 (3) 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1

① 課題

- ・少子化や医療福祉への進学者減少の影響で厳しい状況となっている。
- ・本校の特色等が十分に伝わっていないこともある。
- ・社会人や留学生に対する募集活動が不十分である。

② 今後の改善方策

- ・高校教員に対する医療福祉系職業に対する理解を深めるよう高校訪問を強化する。
- ・ホームページや SNS を活用し、学校の情報を適宜発信して認知度を向上させる。
- ・新聞の広告や社会人向けサイトを利用し、社会人を対象にした募集活動を行う。
- ・留学生対象のガイダンスに参加し留学生への認知度を向上させる。

③ 特記事項

特になし。

(8). 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

- ・ 厳しい募集状況により将来的な経営の安定が不透明である。
- ・ 財務情報について公開できていない。

② 今後の改善方策

- ・ 長期的に安定した運営を行えるよう中長期的な経営計画を策定する。
- ・ 募集対象者や附帯事業についても検討し、収入の安定化を図る。
- ・ 財務状況を公開できるよう準備を整える。

③ 特記事項

特になし。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

① 課題

- ・自己点検・評価の内容について具体的なフィードバックが不十分である。
- ・個人情報保護について、新入職員などの理解が不十分な場合がある。

② 今後の改善方策

- ・自己点検内容について、全学で共通の認識を持ち、課題の解決を行う組織体制を構築する。
- ・新入職員に対し、個人情報保護について研修を行い、理解を深める。
- ・学内のネットワークの整備やウィルス対策を万全にし、個人情報の流出を防ぐ。
- ・学校関係者評価、第三者評価の実施について具体的な検討を行う。

③ 特記事項

特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 (3) 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	(4) 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 (3) 2 1

① 課題

- ・学科によりボランティア活動の参加者数にばらつきがある。
- ・介護福祉学科の教育訓練制度以外の公開講座等を行っていない。

② 今後の改善方策

- ・関係団体や地域に対し、開かれた学校としてより一層施設提供などを行っていくことで地域貢献を繋げる。
- ・ボランティア活動の意義ややりがいを理解させ、興味を持たせることで、積極的に参加する学生を増やす。
- ・公開講座を企画し、地域に根差した学校を目指す。

③ 特記事項

特になし。

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか	④ 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 1

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

- ・留学生ガイダンスなどに参加し、学校の認知度を向上させる。
- ・適切な運営を行えるようスタッフを増員し、留学生を受け入れる体制を整える。
- ・留学生を対象とした広報媒体等を作成する。

③ 特記事項

特になし。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今回の自己点検・評価を行い、今後の具体的な課題や改善点などが明確となった。

募集活動については、少子化、医療福祉系進学者の減少、高校生の就職率向上、大学進学傾向等の影響で大変厳しい状況となっている。中長期的に安定した学校運営を行っていくためには、これまでのようにブログや SNS 等を活用しながら募集活動を強化すると共に社会人や留学生を対象とした具体的な対策が求められる。既存の学科について募集対象者を広げながら、新しい事業展開も視野に入れた中長期計画を策定していくことで学校運営の安定化を図る必要がある。

教育活動については、多様化する学生の対応が必要となっている。大学等からも基礎的教育の必要性が叫ばれる中で、入学前教育、初年次教育の重要性はますます大きくなっている。読み書きや計算など基本的な学力の向上を基盤とし、専門教育を行っていく必要があり、学習の理解度や技術の習得度を個別に把握し、対応していくことが必要である。また、急速に進む医療福祉現場や人工知能導入に伴う労働の変化に対応できるよう将来を見据えた教育活動も行っていくことで、教育の質の向上を図る。実習先や就職先との連携も深め、医療福祉の最先端の情報や技術を取り入れ、学ぶ機会を提供できるよう学習環境を整えることも重要である。その他、就職支援や実習の充実、国家試験対策なども強化し、教育の質を向上させる。

法人運営については、安定的な財務基盤を維持しながら、時代や社会のニーズに合わせた学校づくりとして、10年先を見据えながら学校運営を行うことが重要である。教員だけでなく、職員のスキル向上を図り、全体的な能力を向上させ、質の高い教育サービスの提供ができる環境を整えることが必要となっている。

以上

平成 28 年度
自己点検・自己評価

学校法人 未来学園
高崎歯科衛生専門学校



1. 学校の教育目標

未来学園は医療、福祉分野に必要な専門的知識、技術、態度を養い、実践力を身につけると共に、人間愛を基礎とし、全人的なかかわりや援助、ケアが実践できる医療、福祉従事者を養成する。

教育方針に“Learning Together Thinking Together”を掲げ、教職員一同、医療、保健、福祉の発展のために学生と共に学び、共に考える教育を実践する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

◇授業・実習内容の充実

- ・ 授業評価アンケート・事業参観の実施
- ・ 学生サポートの充実（学習面、技術面、生活面）
- ・ 臨床実習施設との連携強化
- ・ 前橋医療福祉専門学校、京都文化医療専門学校教員との交流

◇学生サービスの充実

- ・ 学生とのコミュニケーションツールの構築
- ・ 学生相談対応を強化し、退学者、休学者の減少
- ・ 国家試験対策の強化（保護者との連携）
- ・ よりきめ細かな就職支援の徹底

◇ボランティア教育の強化

- ・ ボランティア活動への積極的な支援

◇学園行事の実施

- ・ 新入生懇親会
- ・ 戴帽式
- ・ 研修旅行
- ・ 学園祭
- ・ 国家試験決起大会

◇教育用施設・設備の拡充

- ・ 多様化する医療福祉現場に対応できる教育用機器・備品・図書を整備
- ・ 老朽化している教育用機器・備品の補修、買い替え

◇広報・募集活動

- ・ 社会人入学生受け入れの対策
- ・ インターネットやSNSを活用した広報展開

◇学内事務システムの整備・運用

- ・ 学校事務システムの適正な運用

◇教職員研修の実施

- ・教員に対する教育研修の実施
- ・教職員対象とした個人情報保護法やセクシャルハラスメント・パワーハラスメント防止のための研修の実施

◇地域貢献

- ・環境問題への取り組み
- ・関係団体への施設・設備の提供

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱 いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想など が学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する 業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

学校の理念、教育目標などはホームページに公開されているが、学生、保護者等への周知・理解という点においては十分でない。

進歩する医療福祉分野において、多様化する歯科業界のニーズに対応できる育成人材像を構築する。

② 今後の改善方策

学生や保護者に対し、学校の教育理念、目標、将来の計画などを分かりやすく情報提供できる機会を設ける。

特に、医療分野では資格取得が第一優先となりがちだが、本校の特徴である人間性教育を理解してもらう機会を増やす。

③ 特記事項

特になし。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 課題

教育活動に関してホームページやパンフレットでの情報公開だけでなく、具体的な取り組みや学生の様子などを発信することで、更に認知度を向上させることが求められる。

② 今後の改善方策

広く一般市民の方に学校を認知してもらうように、日ごろの授業や実習、学校生活の様子などについてブログなどを利用し、公開する。

③ 特記事項

特になし。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
-------------------------	---	---	---	---

① 課題

実習先等からの意見をアンケートなどで聞く機会は設けているが、教育内容やカリキュラムに取り入れる仕組みが構築できていない。

教員研修を学生の夏季休暇中、冬季休暇中に実施しているが、より充実させる必要がある。

多様化する学生のニーズをより把握し教育活動につなげる必要がある。

② 今後の改善方策

実習先や就職先のネットワークを深め、臨床の現場で必要な知識や技術などを教育に取り入れるシステムを構築する。

授業参観や授業評価アンケートの結果だけでなく、日頃から教授方法や学生対応等をOJTによる指導により、教員の質の向上を図る。

多様化する学生のニーズを把握し、適切な教育支援、学生支援をきめ細かく行える体制を整える。

③ 特記事項

特になし。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

国家試験の取り組みと就職活動の両立ができず、卒業後に就職先を決める学生もいる。
最終学年での退学者が出ている。

卒業生の活躍を客観的に把握できる仕組みを整えられていない。

② 今後の改善方策

就職ガイダンス等で就職に対する意識を高め、早期から就職活動を行う意識を持たせ、学生からの相談を受けられる窓口（担当者）を設置し、一人ひとりに適切な助言が行えるようにする。

国家試験対策を充実させ、個別かつレベル別にきめ細かく学生への支援を行う。

卒業生とのネットワークをより強化することで、現場で必要とされる知識や技術を把握し、教育活動にいかす。

③ 特記事項

特になし。

(5). 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・ 職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

求人を検索できるシステム等がなく、閲覧・検索がアナログ的になっている。
同窓会等の組織がなく、卒業生とのネットワークが弱い。
社会人向けの教育環境の整備ができていない。

② 今後の改善方策

求人を検索できるシステムを構築し、効率的な就職活動に繋げる。
卒業生とのネットワークを構築し、卒業後の支援や卒後研修などの支援を行う。
社会人が学びやすいように、授業の復習や国家試験対策等を学外でもできるようなシステムを整える。

③ 特記事項

特になし。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 課題

法令上必要な教育用機器・備品を整えているが、導入してから年数が経っているものもある。

② 今後の改善方策

医療や福祉の進歩に伴う教育用機器・備品を整え、充実した教育を提供できるよう環境を整える。

③ 特記事項

特になし。

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

① 課題

学校選択のツールとして、進学情報誌の他、インターネットを利用した進学情報サイトやSNSが主流となっており、多様化するメディアに対応した広報戦略が求められる。

資格取得を主な選択理由としている生徒も多いが、本校の人間性教育の必要性を伝えることで、他校との差別化を図る。

少子化や競合する大学や専門学校の増加により、募集状況は厳しくなることが予想され、対象を社会人や留学生に広げた広報展開を行っていく必要がある。

学納金の納入が通年で一括となっており、負担が大きい家庭もある。

② 今後の改善方策

ホームページや進学情報誌だけでなく、SNS等を活用した広報活動を行う。

社会人や留学生に向けた情報を発信し、募集対象者を広げる。

学納金については、前期・後期毎の納入が可能となるよう学則及び諸規定を整備する。

③ 特記事項

特になし。

(8). 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

安定した財務内容となっているが、少子化等で募集状況が厳しくなるため、新規事業も含め、中長期的な経営戦略を策定する必要がある。

② 今後の改善方策

また、社会人や留学生を募集対象者として捉え、入学者数の増加を図る。

③ 特記事項

特になし

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

① 課題

自己点検・評価の内容について具体的なフィードバックが不十分である。

② 今後の改善方策

自己評価の結果をホームページや広報媒体等で公開し、広く学校運営について理解を求めらう環境を整える。

③ 特記事項

特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

① 課題

学生のボランティア参加者数が年々減少している。

地域に対する公開講座や教育訓練等を実施していない。

② 今後の改善方策

学生にボランティアに対する意義を伝え、自ら積極的に参加するよう促す。具体的には、専任担当者を設置し、ボランティア依頼内容を把握した上で、適切な助言ができるような環境を整える。

地域に根差した学校となるよう、公開講座を企画し、地域住民に広く参加してもらう。

③ 特記事項

特になし。

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 1

① 課題

留学生の受入実績がないが、今後の募集活動の対象を留学生も含め検討を行う必要がある。但し、国家試験や就業について、法律的に解決できない部分も多いため、業界全体で法整備や外国人留学生に対する奨学金の設置などを行政に進言していくべきである。

② 今後の改善方策

留学生受入れについて具体的に検討し、受け入れ可能な環境を整備する。専任の担当者を配置し、学習面、生活面で不自由なく過ごせるように支援できる体制を整える。

③ 特記事項

特になし。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今回、文部科学省から提示されている学校評価ガイドラインに沿って自己点検・自己評価を行った。学校運営を教育的、募集的、財務的等、様々な観点からみることができた。一方、専門学校も多種多様であり、回答しにくい内容や4段階では評価しにくいものもあった。今後も引き続きガイドラインを参考にしながら、それぞれの分野や学校に適した自己点検・自己評価を行っていくことで、適正な学校運営を行っていきたい。

また、学校関係者評価、第三者評価についても実施できるよう体制を整えることが必要である。

具体的な今年度の評価から見えた課題については、教育的な部分については、より教育方針でもある人間性を高める教育運営を行っていくこと、学科の特徴を出し専門的知識・技術以外にも社会人としての倫理観を持ち対応できる人材養成ができる組織づくりや学習環境を整備すること、卒業生や地域住民とのネットワークを構築すること、就職活動や実習がスムーズに行えるようにWEB等を活用したシステムを構築することなどが挙げられる。

これからの専門学校は、18歳人口が減少していく中で、公益法人としての責任を果たすと共に特徴ある学校づくりをしていく必要がある。そのための具体的な施策を生み出すきっかけの一つとして学校評価を捉え、更に成長し安定した学校づくりを行っていくべきである。

今回の自己点検・自己評価により多くの課題や改善点が浮き彫りとなった。自己点検・自己評価は、自ら客観的に学校運営を評価できる有益な機会であると捉え、この結果を今後の教育活動にかかしていきたい。